

総合内科

■北川 泉 総合内科部長

日本内科学会認定医,
日本内科総合内科専門医・臨床研修指導医,
日本高血圧学会専門医, 日本循環器学会専門医,
日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医

■小林 修三 副院長, 腎臓病総合医療センター長, 内科統括責任者, 検査部長

日本内科学会認定医,
日本腎臓学会指導医・専門医,
日本高血圧学会専門医 (FJSH) 指導医,
病態栄養学会専門医, 日本透析医学会指導医

■賀古 眞 内科後期研修センター長, 肝・胆・膵疾患治療センター長

日本肝臓学会認定肝臓専門医,
日本消化器病学会認定消化器病専門医,
日本消化器内視鏡学会認定専門医,
日本内科学会認定内科医,

日本人間ドック学会認定人間ドック認定医

■ジョエル ブランチ 臨床研修アドバイザー

■中川 佳子

日本内科学会認定医,
日本内科学会総合内科専門医,
日本糖尿病学会, 日本消化器内視鏡学会

■西口 翔

日本内科学会認定医,
日本内科学会総合内科専門医,
日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医

■十倉 満

日本内科学会認定医,
日本内科学会総合内科専門医,
日本消化器学会, 日本消化器内視鏡学会

■伊藤 亮治

日本内科学会認定医

■上原 幸治

■関 健一

■西増 理絵子

■熊谷 知博

■新津 敬之

■天目 純平

■宮園 翔

■鎌田 渉

■河東 堤子

■宮川 峻

■天野 紗緒理

■田崎 潤一

■中村 和憲

■松見 信平

■矢野 優太

当科の沿革

当院の総合内科は2005年4月, 内科統括部長の小林修三副院長の下, 北川泉と腎臓内科の守矢英和 (現・腎臓病総合医療センター腎免疫血管内科部長) が部長に就任し, 新体制でスタートしました. それ以前, 1988年11月の当院開設時は, 内科全般の診療を「内科」が担当していました.

その後, 日々細分化・高度化する医学知識や医療技術に対応していく必要性から, 一般内科を担当する内科以外に, 新たに神経内科, 腎臓内科, 血液内科, リウマチ科など各専門内科を標榜する科を新設しました. しかし, 専門内科の設置が進むなか, さまざまな急性期のニーズに一元的に応じる科が求められるようになり, 臓器にこだわらず全人的医療を中心とした医療を率先すると同時に, それぞれの専門内科と連携を図り, 取りまとめる科として, 総合内科が誕生しました. 2010年, 当院は新築移転し

病床数619床に拡大、救急車による年間搬送件数も12,000件を超えるようになり、内科全体も発展していく年となりました。2012年には内科全体として後期研修医を育てることをコンセプトに、内科後期研修センターを設立、総合内科は同センターの立ち上げと運営に大きく関わっています。

当科の特色と活動

総合内科は外来診療、入院診療、研修医教育を3本柱に、全人的医療を心がけています。専門分化が進んだ最先端の現代医療のなかで見落としがちな患者さん全体を診るということを大事にしながら、患者さん中心の医療を実践する理想の医師像を追求していこうと日々努力しています。私たちは総合内科のみで患者さんが本当に満足できる医療を提供できるとは考えていません。総合内科と専門内科が、うまくかみ合っこそ初めて、患者さんが本当に満足できる医療の提供が実現できるものと思っています。外来診療では、当科は内科新患外来を担当することにより、「内科」の外来を担っています。これは専門内科の先生方も同様です。さらに当科はER、他科からのコンサルテーション、他院からの窓口の役割も担当しています。入院診療では専門的な診断や治療が必要な場合、各専門医の協力や指導を受けることができます。一方、研修医教育では、臨床教育指導医のジョエル・ブランチ・ティーチングドクターと討論を行ったり、国内外の優れた指導医を招待し、病棟回診、症例検討、医学講義も実施したりしています。一流の臨床家の診療技術・技能に接するなかで、より新しい価値観に基づく知的な刺激を受けながら、常に診療の質を高めるように努めています。

当院の総合内科は、日本に欠くことのできない次代を担う医師の育成に注力、また総合内科のFront runnerとしての役割を發揮し、今後もより良いもの

を積極的に取り入れて成長を続け、世界に向け情報発信できるようにしていきます。

過去から2015年度までの歴代チーフレジデントの動き

2005年総合内科が誕生してから歴代チーフレジデントは、2007年岡村暢人、2008年の福田真、2009年阿多智之、2010年度は川島彰人、2011年度は西口翔が担当しました。2012年度はチーフ不在の年となりました。2013年より、十倉満、西野宏一、和足孝之、渡辺貴之が担当。2014年は、佐藤淑、角谷拓哉、所晋之助、増田作栄が担当。2015年は、伊藤亮治、富山周作、渡邊晋二が担当しました。現在は歴代チーフのうち西口翔（医長）、十倉満、伊藤亮治がスタッフとして活躍しております。

2015年の学術業績

(1) 論文発表

1. 北川泉, 賀古眞, 稲福徹也. III病院総合診療医学・診断学19腹痛. 新・総合診療医学 病院総合診療医学編 第2版 2015 ; 202-207.
2. 魚嶋晴紀, 北川泉, 賀古眞, 東光久. IV病院総合診療学・治療学 6急性腹症. 新・総合診療医学 病院総合診療医学編 第2版 2015 ; 286-289.
3. 北川泉, 梶波康二. 第2章 循環器系 2. 静注で使用する降圧薬の使い分けを教えてください. 増刊レジデントノート2015;Vo1. 17-No. 2:45-52.
4. 北川泉, 西口翔, 川田純也. メディクイズ 62歳男性 呼吸苦, 四肢のしびれと筋力低下. 日経メディカル2015;2015年3月号No. 568:87-88.
5. 近藤晃, 渡邊晋二, 谷川徹也, 北川泉, 川田純也. <症例>絶食により発症したWernicke脳症の1例から考えられる血清ビタミンB1値測定の有用性について. 臨床雑誌「内科」2015 ; 第115

巻 第3号2015 : 507-510.

6. 北川泉, 正木康史. 関節痛・関節炎へのアプローチ 病因で診る関節痛・関節炎. 総合診療 2015 ; Vol.25 No.4 2015 : 330-332.
 7. 田口雄一郎. 関節痛で疑うコモンな疾患 変形性関節症(OA). 総合診療 2015 ; Vol.25 No.4 2015 : 338-340.
 8. 西口翔. 関節痛で疑うコモンな疾患 感染症. 総合診療 2015 ; Vol.25 No.4 2015 : 342-343.
 9. 北川泉, 川田純也. 特集 高齢者救急の落とし穴ー紹介する時 される時 [症状別ピットフォール-atypical presentationを中心に] 頭痛 重篤疾患に起因する二次性頭痛を見逃さないで. 総合診療 2015 ; 第25巻 第6号 別刷 : 538-540.
 10. 北川泉, 正木康史. メディクイズ 54歳男性 左膝の痛み. 日経メディカル 2015 ; 2015年7月 No.572 : 75-76.
 11. 北川泉. 再興感染症 髄膜炎菌感染症. 救急医学 感染制御の最前線 救急領域のベストプラクティス 2015. 2015年9月 Vol.39 No.10臨時増刊号 : 1430-1433.
 12. S.Nishiguchi, T.Ishiyama, S.Teshima, I.Kitagawa. Uterine Leiomyosarcoma Presenting with a Fever of Unknown Origin. Intern Med 2015;54:2523-2524.
 13. 高橋雄治 (司会 川口剛史), 小林修三, 石山貴章. カンファで学ぶ臨床推論 [主訴] 88歳男性 呼吸苦. 日経メディカル2015 ; 2015年10月 No.575 : 116-118.
 14. 北川泉, 川田純也. 日経メディクイズ【初期診療】32歳女性 起立性頭痛. 日経メディカル 2015 ; 2015年12月号 : 93-94.
- (2) 学会発表
1. 美坂聡樹, 宮川峻, 渡邊晋二, 佐藤淑, 田口雄一郎, 川田純也, 北川泉 : 難治性の嘔吐吐逆を呈した不全型視神経脊髄炎の1例. 第612回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 2.
 2. 片桐欧, 魚嶋晴紀, 増田作栄, 北川泉, 賀古眞 : 外傷性くも膜下出血を契機に原発性副腎機能低下症が顕在化した1例. 第613回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 3.
 3. 赤嶺周亮, 所晋之助, 西口翔, 田口雄一郎, 持田泰寛, 北川泉, 大竹剛靖, 小林修三 : 尿所見が軽微で腎生検にて診断に至った顕微鏡的多発血管炎の1例. 第613回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 3.
 4. 赤穂史帆, 稲垣俊一郎, 神戸栄美子, 玉井洋太郎, 田中江里, 手島伸一 : 多彩な神経症状を呈した非ホジキンリンパ腫の一例. 第112回日本内科学会総会, 東京, 2015, 4.
 5. 伊藤亮治, 稲垣俊一郎, 神戸栄美子, 玉井洋太郎, 田中江里 : 診断に難渋した難治性溶血性貧血の一例. 第112回日本内科学会総会, 東京, 2015, 4.
 6. 柴康弘, 角谷拓哉, 黒田駿, 西口翔, 北川泉 : *Pasteurella multocida*感染性心内膜炎の1例. 第112回日本内科学会総会, 東京, 2015, 4.
 7. 新津敬之, 久米奈央, 渡辺貴之, 魚嶋晴紀, 金原猛, 賀古眞 : 急激な経過を辿った*Clostridium perfringens*による溶血性貧血の一例. 第112回日本内科学会総会, 東京, 2015, 4.
 8. 小池達也, 上原幸治, 西口翔, 北川泉 : 同時期に発熱で受診した心膜心筋炎の2例ー非劇症例と劇症例ー. 第616回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 7.
 9. 長崎進哉, 魚嶋晴紀, 北川泉 : 低血糖昏睡にて発症した肝不全合併神経性食思不振症の1例. 第617回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 9.
 10. 関健一, 佐々木亜希子, 市田親正, 所晋之助,

- 江頭秀人, 杉本栄康, 北川泉, 築山俊毅, 手島伸一, 賀古眞: 転移性肺腫瘍との鑑別にPET-CTが有用であった肺類上皮血管内皮種の1例. 第620回日本内科学会関東地方会, 東京, 2015, 12.
11. 佐藤淑, 富山周作, 西口翔, 北川泉: 2週間ショックバイタルが続き来院した70歳男性の1例. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 筑波, 2015, 6.
12. 平田有美恵, 西口翔, 十倉満, 谷川徹也, 北川泉: 突然発症の腹痛を呈した*Serratia marcescens*感染性心内膜炎の一例. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 筑波, 2015, 6.
13. 西口翔: 急性期総合病院における後期高齢者の夜間死亡. 第57回日本老年医学会学術集会, 横浜, 2015, 6.
14. 清水大, 郡司裕介, 福田開人, 佐藤充晃, 成志弦, 河東堤子, 関健一, 市田親正, 河内順, 北川泉, 杉本栄康: 吐血を契機に診断された小細胞肺癌胃転移の一例. 第216回日本呼吸器学会関東地方会, 前橋, 2015, 9.
15. 伊藤亮治, 川田純也: 異常姿勢を呈したパーキンソン病17例の検討. 第9回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 品川, 2015, 10.
16. R.Ito, Y.Tamai, S.Sato, E.Kanbe, E.Tanaka: Retrospective analysis of super-elderly patients with multiple myeloma in our hospital. 第77回日本血液学会学術集会, 金沢, 2015, 10.
17. 平田有美恵, 森貴久, 岩田智則, 丹野雄平, 笠倉至言, 吉岡和博: 救急外来で心房細動性脳塞栓症の診断に利用可能な独立決定因子の検討. 第31回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 岡山, 2015, 11.
18. R.Ito, E.Tanaka, M.Urayama, E.Kanbe, Y.Tamai: A Japanese Young Male Patient with Fever and Neutropenia in October 2014. Diagnostic Error In Medicine 8th International Conference, Washington,D.C. 2015, 9.
19. I.Kitagawa, J.Branch, S.Nishiguchi, H.Sugimoto, S.Sato: Anchored to an Uncomfortable Diagnosis. Diagnostic Error In Medicine 8th International Conference, Washington,D.C. 2015, 9.
20. 上原幸治, 西口翔, 十倉満, 谷川徹也, 北川泉: Pituitary abscess with partial oral administration of levofloxacin. 米国内科学会日本支部年次総会 2015, 京都, 2015, 5.